

モニターレポート(4月報告)

【報告内容①】

東日本大震災の被害者数は、死者・行方不明を合わせると2万6千人、福島第一原発で避難された人々は13万人に達した。未曾有の大災害から1ヶ月が過ぎた今、被災された方々は大きな心の傷を負いながらも復興に向け懸命の努力をしており、私はその姿を見て「ガンバレガンバレ」と応援せずにはいられない。このために自分にも出来ることは率先して行い、微力でもいいから復興の一助になるよう行動していく。

〈事務所からのコメント〉

3月11日に発生した東日本大震災は、報道のとおり、巨大な爪痕を東日本にもたらしました。この巨大地震により亡くなりました方々に対して、お見舞い申し上げる次第です。また未だ行方がわからない方々が多数おられますことも、痛々しい現実を物語っているものと思います。

この震災に対して、北陸地方整備局からも現地に応援に行き、復旧活動を行っているところでもあります。

【報告内容②】

河川敷の駐車場、河川敷付近は地域や利用者(船の持ち主)等の巡回があるのですか？駐車場によく誰も乗っていない車とかがあるので、ちょっと気になりました。

〈事務所からのコメント〉

河川敷や河川敷内の駐車場に車が置きっぱなしになっていることがあります。公園の場合は、公園管理者の市町村に通報し、公園管理者が対応します。公園等の占用区域以外の所に車を長期間駐車されているのが発見された場合は、当方で所有者を調査し、所有者に直接移動するように指示しています。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

ゴミの多さは相変わらずで、新横雲橋下周辺では、作業用ズボンも捨てられていました。雪処理等に工事で来た関係者のものなのか？もし本当にそうであるならば、その常識が疑われます。

多くのゴミの中では、自分が捨てても目立たないだろうという誤った意識も生じがちです。一度ゴミをゼロにするクリーン作戦を行い、まっ白な状態にすることが必要ではないでしょうか。もちろんそれで無くなるとは思えないので、継続的な観察や対策が必要だとは思いますが。

〈事務所からのコメント〉

クリーン作戦をしたらどうかというご提案がありました。阿賀野川でクリーン作戦を行っている団体として「阿賀野川をきれいにする会」があります。沿川の自治会や河川敷地の占有者、阿賀野川マリンクラブ、漁協、老人会などが構成員となって阿賀野川のゴミ拾いをする活動を行っています。自主的に活動をしていただいております、大変感謝しております。

【報告内容④】

冬以来公園の利用状況(市民が楽しんでいるかどうかなど)を注目していますが、公園の状況によって、使われ方が全く違うことがわかりました。とても良い公園なので、管理担当部署の方はなお一層皆さんが大いに利用できるように研究をしてほしいと思います。

〈事務所からのコメント〉

河川公園の利用についてお話がありました。一口に河川公園といっても、スポーツ施設や散策道、花壇、広場等、色々な施設が整備されています。また最近では、利用する人も多様化しており、さまざまに利用されています。河川公園は市が計画し、整備しているものですが、言われるとおり、より多くの方に利用してもらうことが重要であると思えますし、これは公園管理者の市も同じ考えであると思われます。

ご要望については、市にもお伝えします。

※複数のモニター報告を要約してあります。